

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール武蔵新城		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		～ 2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2025年 10月 15日		～ 2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	感覚調整遊具が充実している。	効果的に感覚刺激が入るように、遊具の使い方を工夫している。	子どもがすすんで遊具に親しめるような環境を整える。 職員一人ひとりが感覚調整についての学びを深める。
2	子どもの成長・発達について保護者と一緒に考えることができる。	保護者と一緒に通所してもらっている。マジックミラー越しに療育の様子を見守ってもらう環境が整えられている。 作業療法士・公認心理師等の資格や、保育園・幼稚園・小学校での勤務経験がある等、多職種の職員が在籍している。その為、それぞれの資格や経験を活かした専門的な支援を行っている。	今年度実施した親子プログラム等、子どものより良い成長に繋がる活動を提供し、保護者支援にもより一層力を入れていく。
3	事業所へ通うことを楽しみにしている利用者(子ども・保護者)が全体の9割以上である。満足度も高い。	伸ばしたい力の為に必要な活動を遊びの中に取り入れ、子どもが意欲的に楽しめる活動になるよう、療育内容を考えている。	個々の発達の特性や各種検査結果、好きな物、得意なことを適切に把握し、支援内容に生かす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との連携や、近隣の放課後等デイサービスとの連携が限定的である。	4月に横浜センター南スクールと統廃合したことにより、スクール内の環境や利用者へのより良い療育の提供に力を入れていた為。	保育園や幼稚園への訪問だけでなく、利用者通う他事業所とも情報共有を図り、より良い支援に繋げていきたい。 全職員で子どものより良い成長を見守り、連携の対応ができるよう、職員体制の充実を図りたい。